

第Ⅳ期 第5回 国立天文台科学戦略委員会議事抄録

日時：2025年2月10日（月） 13時00分～13時18分

場所：国立天文台大会議室、Zoom

出席者：

（台外）秋山正幸委員（Zoom）、石原安野委員（Zoom）、高田昌広委員（Zoom）、高橋慶太郎委員（Zoom）、濤崎智佳委員、堀田英之委員（Zoom）、渡邊誠一郎委員（Zoom）
（台内）井口聖委員（Zoom）、生駒大洋委員、齋藤正雄委員、都丸隆行委員（Zoom）、本原顕太郎委員（委員長）、吉田道利委員

欠席者：

（台外）戸谷友則委員
（台内）竝木則行委員、藤井友香委員（副委員長）

陪席：

（台外）住貴宏委員（Zoom）
（台内）土居守台長、藤田常事務部長、堀久仁子特任専門員、金子修研究推進課長、大内香織研究支援係長

1. 確認

1.1 国立天文台科学戦略委員会名簿および出席者確認

出席者の確認を行った。

1.2 第4回議事抄録の確認

1月21日に開催された第4回国立天文台科学戦略委員会委員会の議事抄録（案）について説明があり、承認された。

2. 報告と議論

2.1 実施計画策定のイメージについて

実施計画策定のイメージに関して、前回委員会の議論に基づき修正を行った点、及びスケジュール案について説明があり、意見交換を行った。

意見交換の結果、実施計画策定のスケジュールについて、コミュニティへの説明資料を用意することとした。

（主な意見交換）

－既存のフロンティア事業などは影響が大きく、サイエンスロードマップが出来上がってしまってからでは実施計画との調整が難しい。兼ね合いが強い部分は早めに相互ですり合わせを行っておくべき。

－国際審査会には（サイエンスロードマップと実施計画の策定にあたり）制約条件があることをしっかり説明する必要がある。また、審査員の選出も波長単位でとなると既得権益もあり、バックグラウンドを捨てて真摯に向き合える人をチェアが選出する方法もあることがこれまでの科学戦略委員会の議論でも提案されていることは指摘しておきたい。

ーコミュニティへのスケジュールの説明はどうなるのか。本委員会委員は各コミュニティで質問されることになる。

ーコミュニティへの説明資料を用意する。なお、スケジュールについては変更の可能性のあることを伝えて頂きたい。

ー実施計画の書き方は、サイエンスロードマップとの境界線に注意が必要である。サイエンスドリブンだけでなく、国立天文台が決められる運営費交付金の計画と、そうではないフロンティアや外部機関が主導するような計画について丁寧にバランスを取ることが大事である。

以上